

ゆめのみ

雨の日には雨の日の生き方がある

先週から天気に翻弄される日が続いています。運動会も思うように執り行うことができませんでした。大雨、台風、地震など様々な自然災害に私達はなすすべがありません。どんなことがあっても、天を恨むのではなく、その時々を前を向けて歩いて行かなくてはならないのだと思います。そして学校行事を含めて、いざというときの備えや準備を日頃からしておくことが必要なのだと感じています。

切り替えが大切です

今週から部活動が再開されます。運動部では新チームとして迎える秋季大会まで1ヶ月を切りました。生徒会では後期にむけた選挙公示期間中です。後期生徒会には1年生も立候補していきます。また文化祭にむけた合唱練習もスタートします。

運動会という大きな行事を迎えた9月ですが、ここから体も気持ちもリセットしなくてはなりません。切り替えるために必要なのは先を見る「先見」です。足下しか見られない人は、次から次に様々な行事をむかえ、心の中で「～しなくてはならない」という受け身の気持ちになってしまいます。しかし先を見ることが出来る人は「～があるから、・・・しよう。」と心を切り替えながら、能動的な行動を取ることができます。

中学校では、1人1人が先のことを考えながら能動的な行動ができるように声かけをしています。教室にオリジナルのカレンダーを作っているクラスもあったり、背面黒板やホワイトボードなどを活用して先のことをみなさんに伝えるようにしています。

言われてから動くのではなく、少しでも先を見て自分から動く事ができるようになって欲しいと思っています。そうすることが、自分の進路を切り拓くためには有効な手立てだと考えています。さあ今日からまた切り替えて頑張りましょう。

成績表を返却します

前期期末テストの結果を成績表として返却します。今回の成績表からは学年順位(5教科)も発表します。順位を発表する目的は、自分の学力が学年全体としてどれくらいのものであるかを俯瞰的に知るためです。決して人と比べて優劣をつけるものではありませんし、「何番だった？」などと聞くべきではありません。あくまでも自問自答するためのものです。

9月も中旬となり、前期も残り少なくなりました。来月には前期終業式をむかえ、中学校ではじめての通知票を受け取ります。テストだけでなく、これまでの学習の歩みを客観的に評価されるということがどういうことなのか、今一度考えましょう。「勉強したのに」「頑張ったのに」と主観的な考え方でおさめるのではなく、その取り組みが結果としてどう表れているか、どういった観点で自分の取り組みが効果を生んでいるのかといった見方や考え方をしていく必要もあります。

詳しくはまた終業式で担任の先生から話を聞くことができますと思いますが、運動会が終わった今、前期末に向けて学習面もできることを精一杯努力していきましょう。

今週の予定

9月12日(水)	教育実習スタート	
9月13日(木)		
9月14日(金)	激励会	
9月18日(火)	東部駅伝、合服移行期間	選手はベストを尽くそう!

